

公益活動報告書《新規登録団体用》

(宛先) 岡崎市長

令和 7 年 1 月改訂

令和 7 年 6 月 20 日

団体名 木下ふるさと農園

代表者 荻野 嘉美

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、1 年間でどのような公益活動をしましたか。

※登録申請前 1 年間で①継続的な②公益活動を実施していないと市民活動団体登録できません

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは？	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
5 月 25 日	木下町・ふるさと農園 田んぼ	稲・田んぼの生き物・自然環境・参加した家族	5 人	農作業田植え体験（有機栽培ミネアサヒの田植え）
6 月 13 日	木下町・ふるさと農園 田んぼ	稲・田んぼの生き物・自然環境・参加した家族	4 人	農作業田植え体験（有機栽培田の草取り）
7 月 8 日	木下町・ふるさと農園 田んぼ	稲・田んぼの生き物・自然環境・参加した家族	5 人	農作業田植え体験（有機栽培イセヒカリの田植え）
9 月 8 日	木下町・ふるさと農園 田んぼ	稲・田んぼの生き物・自然環境・参加した家族	5 人	農作業稲刈り体験（有機栽培ミネアサヒ稲刈り）
9 月 17 日	木下町・ふるさと農園 田んぼ	稲・田んぼの生き物・自然環境・参加した家族	10 人	農作業田植え体験（有機栽培イセヒカリ稲刈り）

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex. 自然環境など＞

■ 2 前項 1 に基づき、1 年間の団体活動で岡崎市（広く市民社会一般）に何をもたらしましたか。

2020 年度から活動を開始した「木下ふるさと農園」の活動である。参加人数は、各回 10 名前後であるが小人数の温かい人間関係の中での農作業は、体と心を開放してくれる。有機栽培（農薬・化学肥料不使用）の田んぼでは草とのたたかいが大きな壁となる。これに対して、都市住民から多くの親子が援農＝縁農ボランティアとして草取り作業に熱心に取り組んでくださった。そのおかげで、有機栽培でも一反あたり 5.5 俵まで収穫を上げることができた。お米作り体験を通して、お米や雑草や田んぼの生き物とふれあうとともに、人と人とのつながりが生まれたところに、木下ふるさと農園の社会貢献事業としての意味があると感じている。